

A

山田公民館を改修 地域拠点として整備

概要

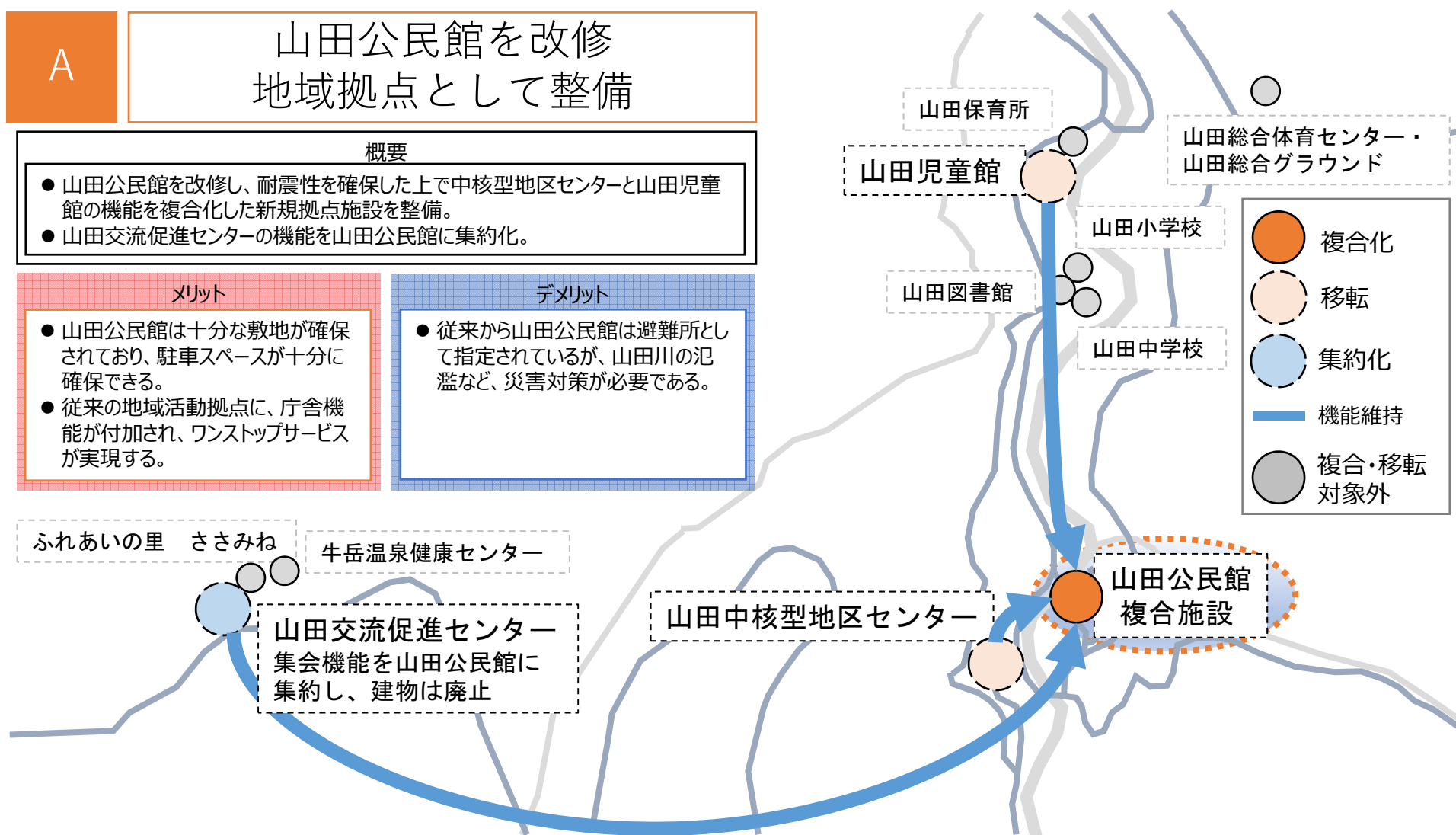
- 山田公民館を改修し、耐震性を確保した上で中核型地区センターと山田児童館の機能を複合化した新規拠点施設を整備。
- 山田交流促進センターの機能を山田公民館に集約化。

メリット

- 山田公民館は十分な敷地が確保されており、駐車スペースが十分に確保できる。
- 従来の地域活動拠点に、庁舎機能が付加され、ワンストップサービスが実現する。

デメリット

- 従来から山田公民館は避難所として指定されているが、山田川の氾濫など、災害対策が必要である。



優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）

B

山田中核型地区センターを改修 地域拠点として整備

概要

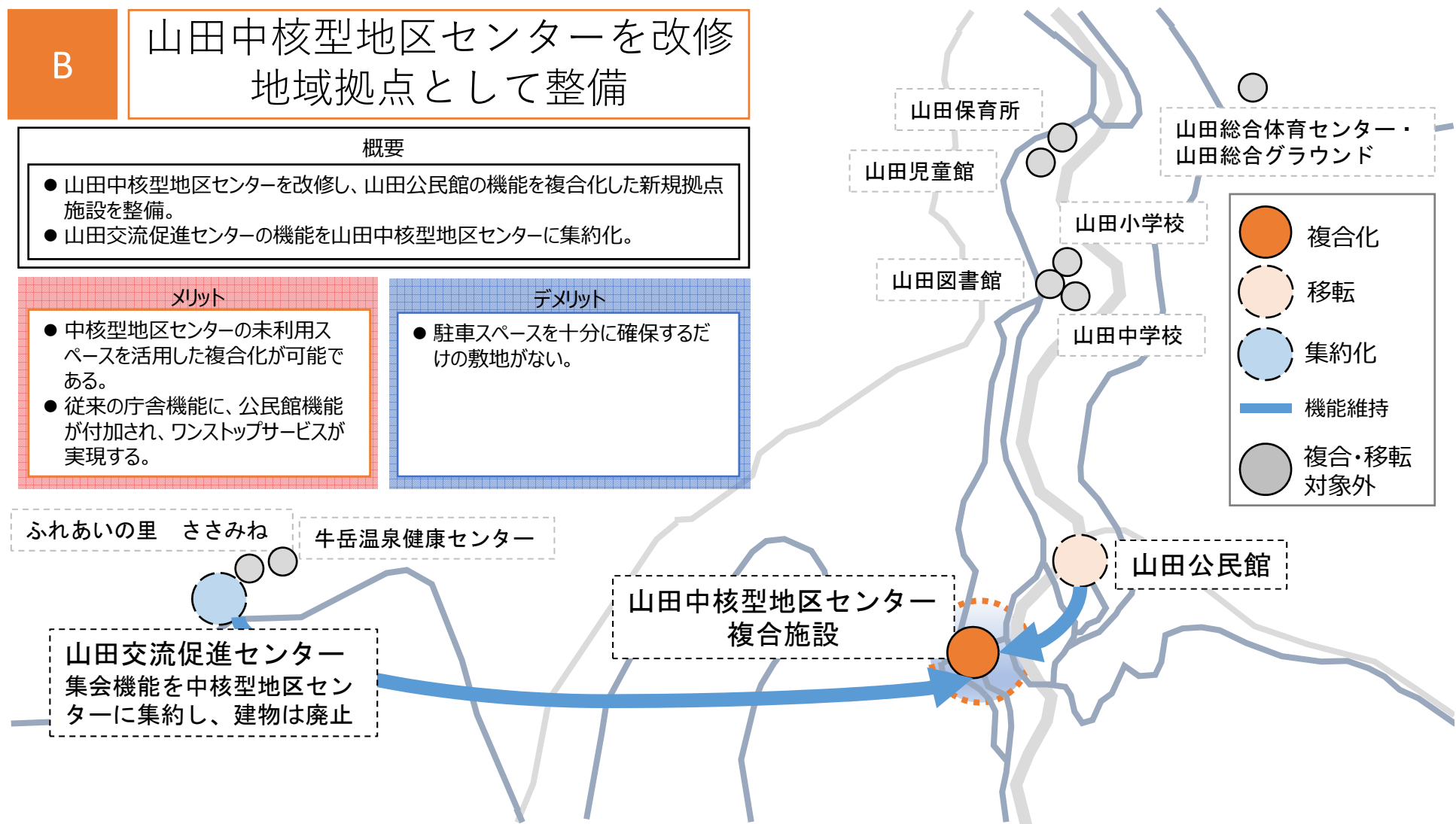
- 山田中核型地区センターを改修し、山田公民館の機能を複合化した新規拠点施設を整備。
- 山田交流促進センターの機能を山田中核型地区センターに集約化。

メリット

- 中核型地区センターの未利用スペースを活用した複合化が可能である。
- 従来の庁舎機能に、公民館機能が付加され、ワンストップサービスが実現する。

デメリット

- 駐車スペースを十分に確保するだけの敷地がない。



○再編に向けた取組みの評価項目（案）

再編方針、および提示された案（必要に応じ、次回までに再編案を修正します）について、次回のワークショップで庁舎・課題について比較検証を行います。

比較検証はこれまでに議論された5つの視点で行います。

また、複合化の対象外となっている施設に関わるものについては再編方針の記載内容に基づき実施します。

	評価項目（案）	評価方法（案）
①地域拠点を核とした活性化	● 若い世代に魅力を感じてもらえるような、施設づくりができているか。 ● 地域コミュニティの核となる多世代が交流できる場を確保されているか。 ● 複合化により、利用率の向上や施設への新たな価値の付加が図られているか。 ● <u>交通アクセスの利便性（駐車場の広さ等）は確保されているか。</u>	公民館機能がどのような形で維持されるかを評価。
②地域資源の有効活用	● 観光施設やレクリエーション施設は運営面で連携させて、地域として外から多くの方に山田地域に来てもらう工夫を行う計画となっているか。 ● 観光施設・レクリエーション施設の魅力向上のため、民間のノウハウを活用することが盛り込まれているか。 ● 他地域の方の利用を促進するため、積極的な情報発信や誘致の仕組みを取り入れるなど運営面を強化する取組みが含まれているか。	観光施設・レクリエーション市施設の再編方針に左記の文言が含まれているかを評価。
③子育て環境の充実	● 子育て環境を維持されているか。	小中学校、保育所、児童館機能が存続されるかを評価。
④安全性の確保	● 避難所や避難経路の安全性を確保されているか。 ● 災害時の司令拠点となる中核型地区センターの、災害時の事業継続性が確保されているか。	中核型地区センター、公民館の配置状況により評価
⑤将来負担の軽減	● 機能が重複している施設の整理が行われているか。 ● 老朽化した施設や余剰床のある施設が他施設との複合化や廃止を通じて解消されているか。 ● 将来コストが縮減されているか。	再編方針、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の内容を評価